



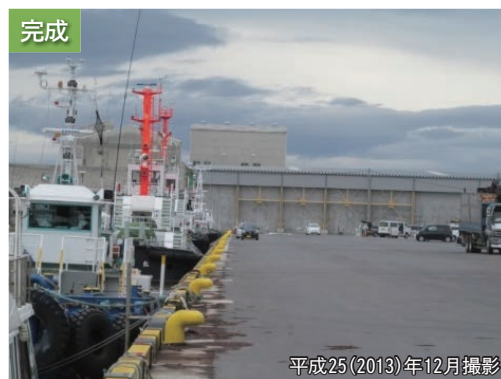
③大手5,000t岸壁



④中島15,000t岸壁



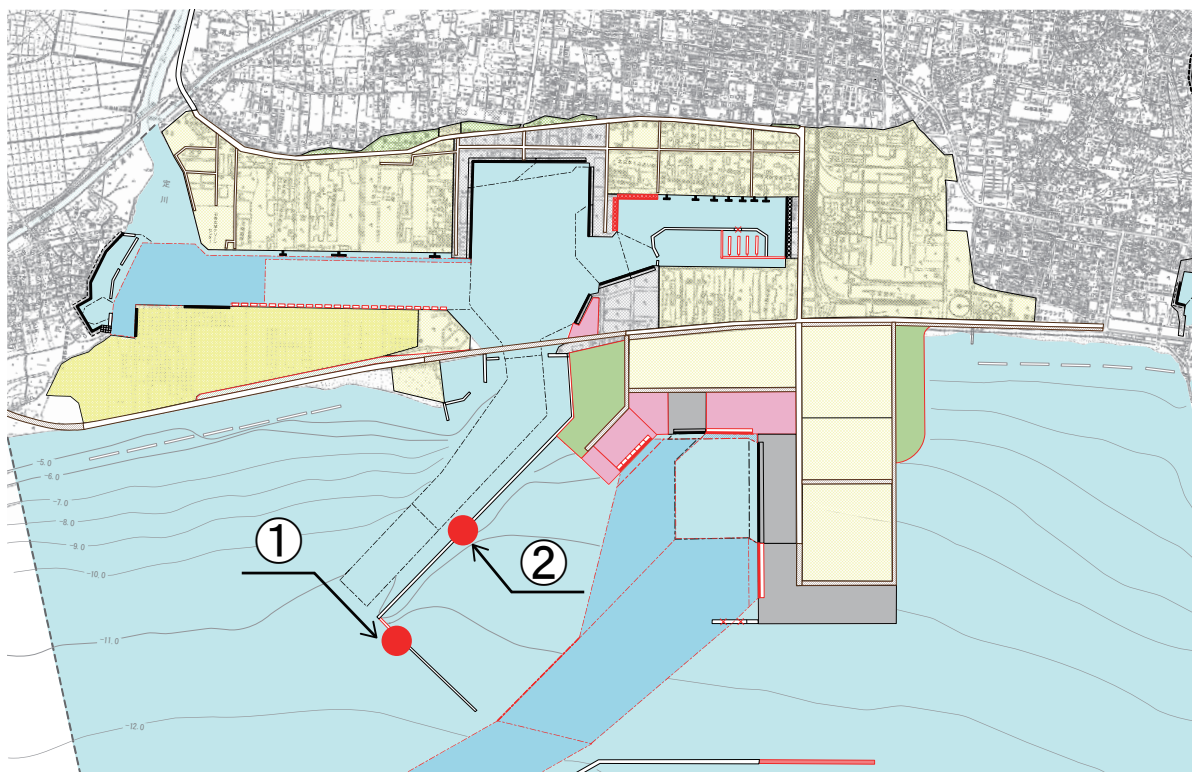
⑤大手2,000t岸壁



⑥潮見岸壁

※代表箇所のみ掲載

▶防波堤



復旧工事位置図



①西防波堤

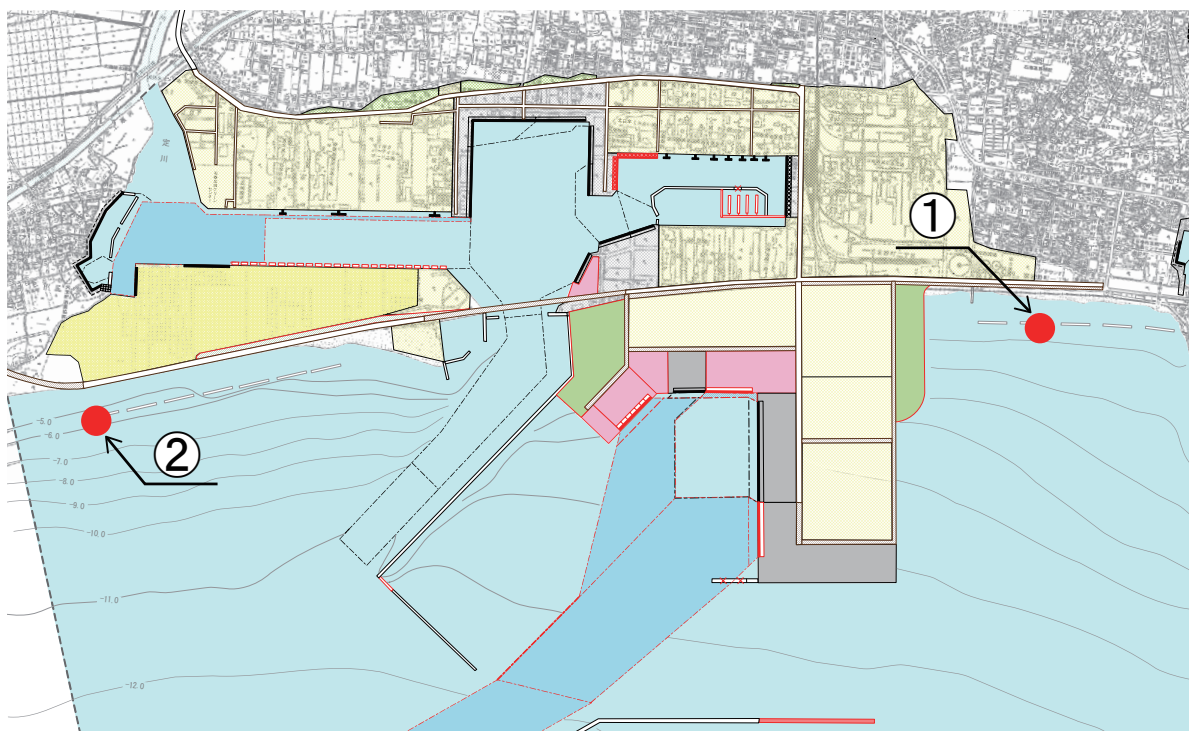


②雲雀野防波堤

※代表箇所のみ掲載

○ 復旧事業（海岸保全施設）

▶ 離岸堤



復旧工事位置図



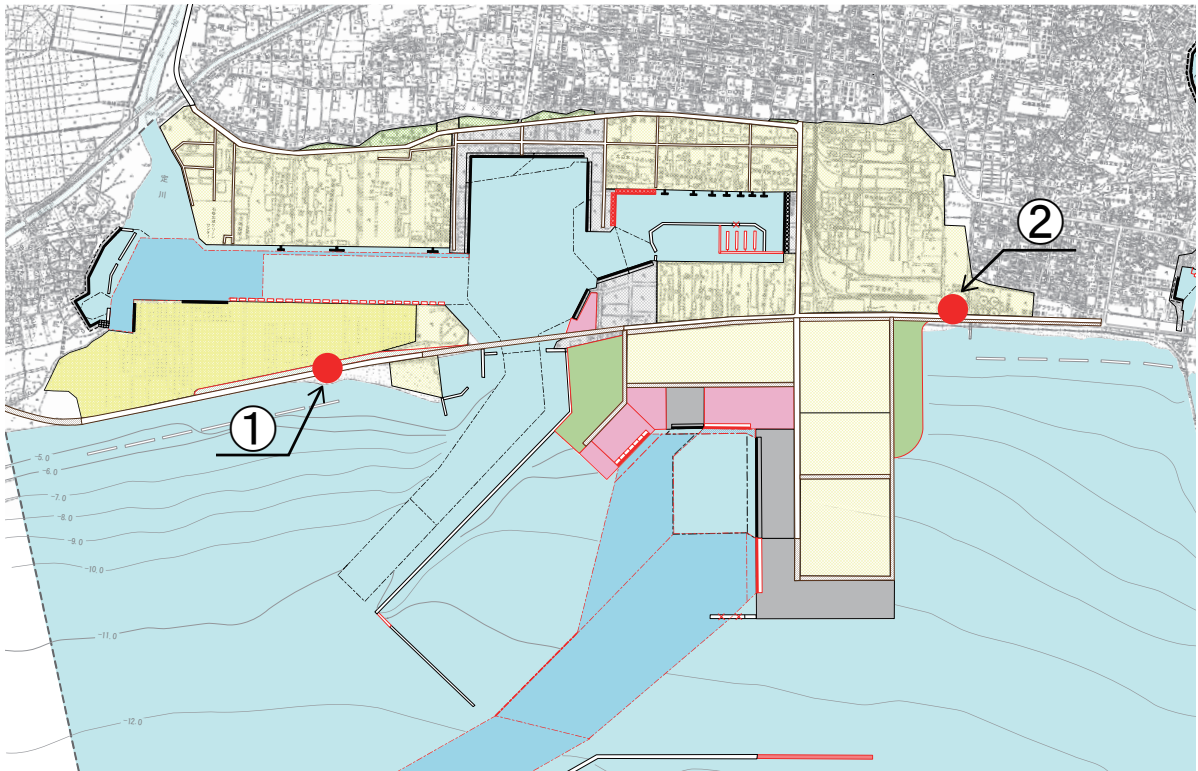
①東浜離岸堤



②西浜離岸堤

※代表箇所のみ掲載

▶ 防潮堤



復旧工事位置図



着手前



完成

平成28(2016)年10月撮影

①西浜防潮堤



着手前



完成

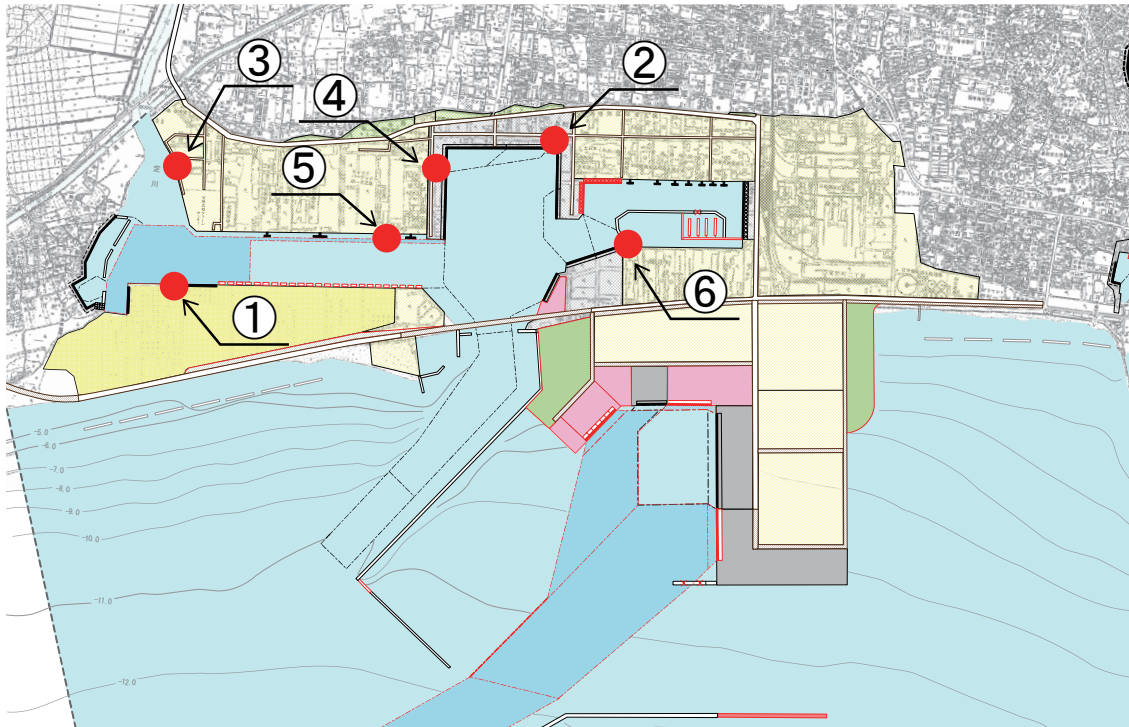
平成29(2017)年3月撮影

②東浜防潮堤

※代表箇所のみ掲載

○ 復興事業（海岸保全施設）

▶ 防潮堤



復興工事位置図



①西水路南地区(その1)防潮堤



②大手地区防潮堤

※代表箇所のみ掲載



③重吉地区防潮堤



④中島地区防潮堤



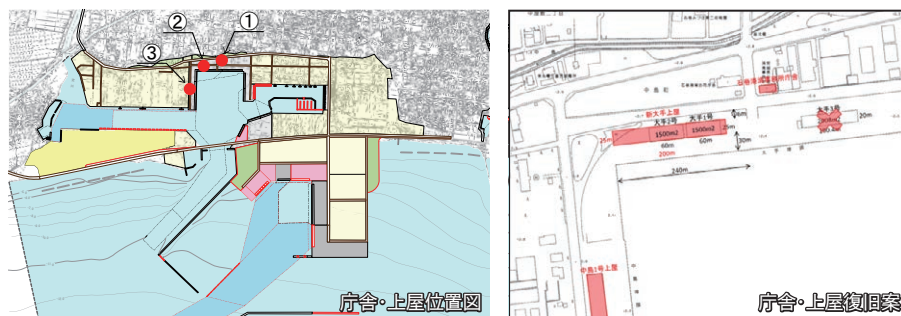
⑤西水路北地区(その1)防潮堤



⑥東水路南地区防潮堤

※代表箇所のみ掲載

○ 庁舎・上屋の復旧状況



大手上屋は被災前に3棟あった施設を1棟に集約して再編された。  
事務所庁舎、中島1号上屋は被災前と同じ場所に復旧した。



平成25(2013)年3月撮影

①石巻港湾事務所庁舎



平成26(2014)年2月撮影

②大手上屋



平成23(2011)年11月撮影

③中島1号上屋

◆ 早期復興に向けた取り組み

港湾施設の復旧・復興方針やスケジュール、港湾の防災機能向上に向けた方針、立地企業の復旧・復興支援策等について話し合われる「石巻港復興会議」が石巻商工会議所を会場とし、計3回の会議が行われた。

【平成23(2011)年4月1日 第1回石巻港復興会議（団結式）】

石巻港の早期復興に向けて第1回石巻港復興会議（団結式）を開催した。

石巻港の早期復興に関する決議

石巻港は、紙・パルプ・木材関連、飼料関連等の各種企業が立地し、新たな企業を誘致できる体制も整っており、宮城県経済・産業を支えるとともに東北経済の振興に重要な役割を果たし、石巻広域圏住民の多くが働く雇用場でもあります。

しかし、平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震により、港の機能は大きな被害を受け、石巻港に立地する多くの企業が、生産拠点となる工場、倉庫等を失いました。

このような中、石巻港に立地する多くの企業が、石巻港での再建を誓い、懸命の復旧活動に取り組んでおります。

石巻港の復興なくして、石巻広域圏ひいては東北地方の復興は望まれません。

つきましては、石巻港と企業各社、そして東北地域の一日も早い復興のために必要な左記事項について、政府の力を結集し、支援して頂く事を強く要望する。

記

- 一、立地企業の一刻も早い再建のため、工場、倉庫の建設に対する三十年間の長期無利子融資等の優遇措置を講じること
- 一、臨港道路及び各社の敷地内に散乱する、がれきや汚泥の撤去に対する支援
- 一、重機・運搬車両の確保と燃料の供給に対する支援
- 一、電力・水道等、ライフラインの早期復旧に向けた支援
- 一、津波により流失、破損した荷役機械の修理・購入に対する支援
- 一、各パルプの早急な復旧と航路の安全確保
- 一、荷役作業の安全を確保するため、沈下した埠頭地の早期復旧
- 一、今回の経験を踏まえ、大規模災害時の海上輸送と経済活動の早期復旧を可能とする耐震岸壁の早期整備
- 一、現在整備中の南防波堤・西防波堤の早期完成及び津波の軽減対策を早急に講じること

右、決議する。

平成二十三年四月一日

早期復興に向けて決議された内容



第1回石巻港復興会議（団結式）の様子

【平成23(2011)年6月23日 第2回石巻港復興会議】

国、県を始め、石巻市、東松島市、石巻商工会議所、石巻港整備利用促進期成同盟会、石巻港企業連絡協議会が出席した。石巻港では主な応急復旧工事がほぼ終了した事を説明した。



第2回石巻港復興会議の様子

【平成23(2011)年8月5日 第3回石巻港復興会議】

石巻市長、東松島市長を始め、港湾関係者等、約90名が出席した。会議では国及び県から石巻港復旧・復興方針（案）や津波に対する防潮堤必要天端高の検討状況、立地企業の復旧・復興支援策などについて説明が行われた。



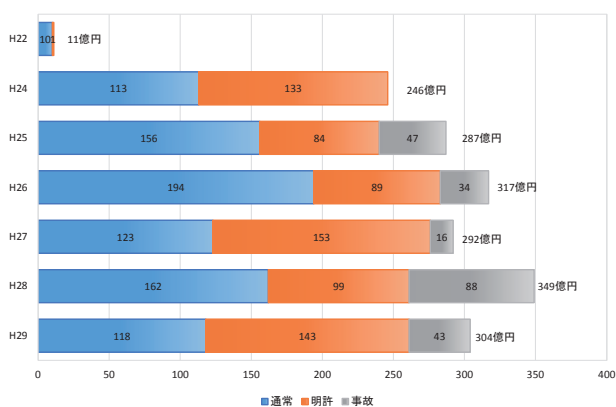
第3回石巻港復興会議の様子



◆ 事務所の組織体制及び予算の推移

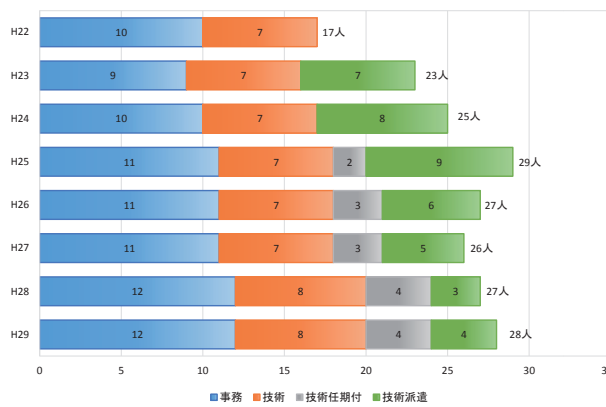
当事務所は、震災後の平成23（2011）年度に事務所の職員数を17人から23人に増強するなど、膨大な災害復旧事業と復興事業に対応してきた。平成28（2016）年度は、3班体制（職員数27名（事務職12名（内再任用2名、任期付1名）、技術職15名（内任期付4名、自治法派遣3名））であり、災害復旧事業、復興事業とともに通常事業として港湾施設の整備、維持管理の業務を推進している。

震災後の通常予算（補助事業及び県単独事業の合計）は平均約140億円であり、震災前である平成22（2010）年度予算の約14倍となっている。平成28（2016）年度の予算は約350億（前々年事故繰越、前年明許繰越含む）となっている。



※平成29年度は当初予算

予算の推移



職員数の推移

各県の派遣職員の実人数(人)と延べ人数(名)

	秋田県		富山県		新潟県		計	
	人	名	人	名	人	名	人	名
平成23年度	5	10	2	6	0	0	7	16
平成24年度	5	5	3	11	0	0	8	16
平成25年度	5	5	3	6	1	1	9	12
平成26年度	3	3	3	6	0	0	6	9
平成27年度	2	2	3	4	0	0	5	6
平成28年度	0	0	3	4	0	0	3	4
平成29年度	0	0	4	5	0	0	4	5
合計	20	25	21	42	1	1	42	68

# I 石巻港のあゆみ / 2 大規模災害を乗り越えて

## ◆ 広報活動

復旧・復興の状況の皆様にご実感していただくため、事務所ホームページによる定期的な復旧・復興だよりの発行、工事現場におけるイメージパースの掲示、工事現場見学会などに取り組んでいる。

## ○事務所ホームページによる情報発信

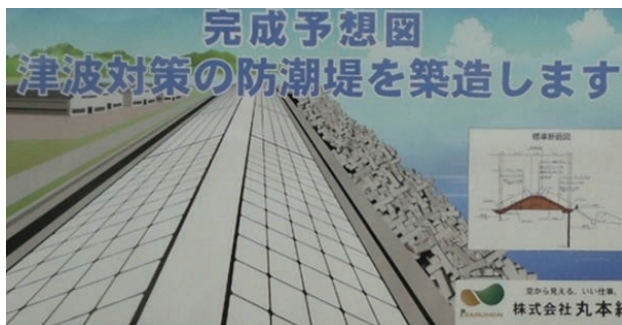


ホームページURL  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>

## ○定期的な復旧・復興だよりの発行



## ○工事現場によるイメージパースの掲示



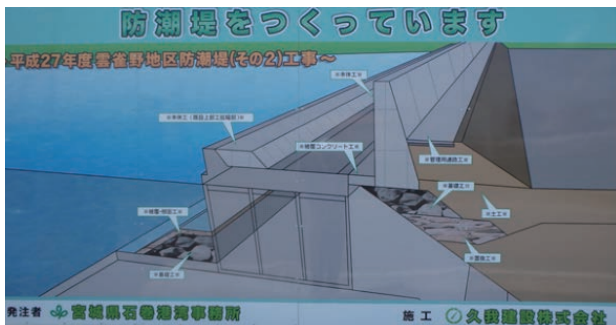
西浜防潮堤災害復旧工事(その1)工事



西水路北地区防潮堤(その2)工事



港内計画堤防高の表示



雲雀野地区防潮堤(その2)工事

○工事現場見学会

▶南防波堤工事現場見学会（平成24(2012)年8月8日）

国土交通省東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所と共催で一般応募の小中学生25名、保護者18名、及び港湾利用者等10名、行政関係者7名の計60名に対し、現場説明会を実施した。



▶高校生対象の現場見学会（平成27(2015)年12月15日）

宮城県建設業協会石巻支部青年会主催の高校生を対象とした現場見学会を実施。石巻工業高校土木システム科の1年生40名が参加し、西浜防潮堤の災害復旧現場を見学した。



▶いしのまき港探検ツアー（平成29(2017)年8月4日）

石巻港開港50周年記念事業の一環として「いしのまき港探検ツアー」（主催：石巻港整備・利用促進期成同盟会）を実施した。石巻及び東松島市内の小学5・6年生とその保護者20組が参加し、石巻港の歴史や港の役割を学んだほか、石巻港と関係のある企業を見学した。



▶復旧・復興パネル展

港湾感謝祭では、復旧・復興パネル展を開催し訪れる皆様に、石巻港の復興状況について説明した。写真は第16回港湾感謝祭の様子。



平成29(2017)年9月撮影

▶合同現場見学会

石巻市市街地復興工事調整会議主催による市民を対象とした現場見学が、平成29(2017)年9月6日、11月16日に開催された。当事務所では西浜防潮堤及び東浜防潮堤工事の概要と工事の進捗状況について説明した。

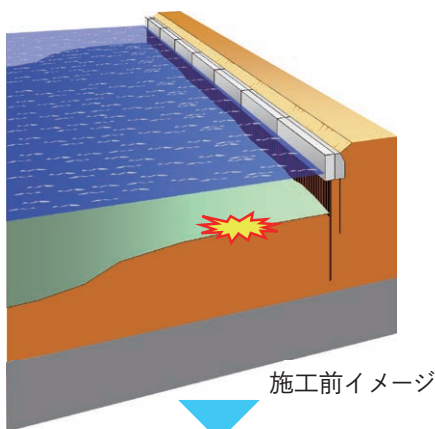


西浜防潮堤（平成29(2017)年9月6日）



東浜防潮堤（平成29(2017)年11月16日）

防潮堤ができるまで（事例：西水路防潮堤）



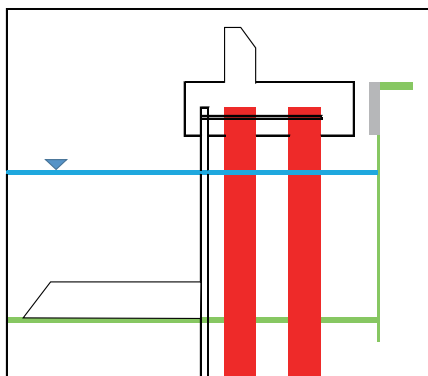
①工事に着手する前にマルチビームを用い海底の地形を測量します。支障物が確認された場合は、これを撤去します。



測量の様子



支障物の撤去



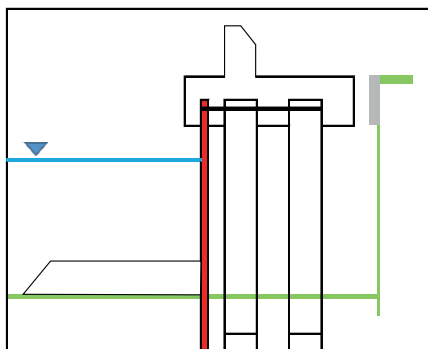
②海底の地盤に鋼管杭を打ち込み、防潮堤の基礎を造ります。



打ち込み作業



打ち込み完了



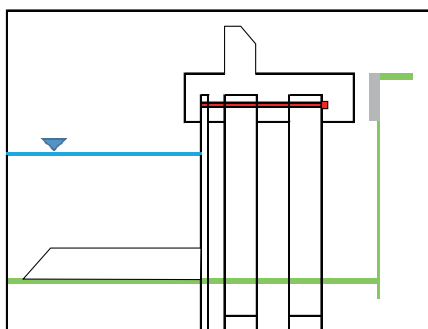
③鋼管杭の周りを埋める材料が海に流れ出ないように、鋼矢板で締め切ります。



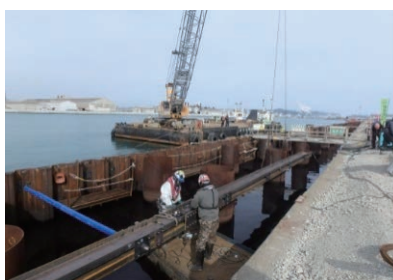
締め切り作業



締め切り完了



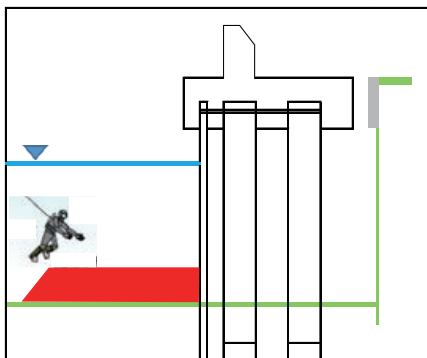
④張力によって構築物を安定化させるため、鋼矢板と部材をタイロッド（棒状の構造材）で連結します。



連結作業



連結完了



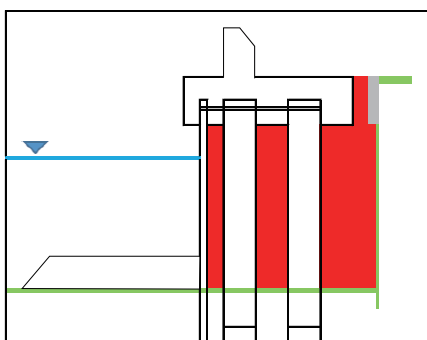
⑤波の勢いで海底の土砂が削り取られ、構造体が不安定になることを防ぐため、海中に石を投入します。石を投入した後、潜水士が上面を±50cmに均し形を整えます。



使用する石の重量を確認します。



石投入の様子



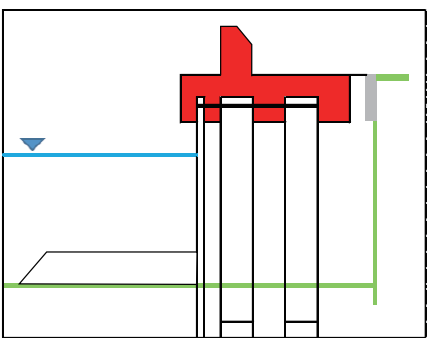
⑥構造物の安定を図るため、鋼管杭の周りに割石を投入します。石を投入した後、上面を±20cmになるよう均します。



割石投入作業



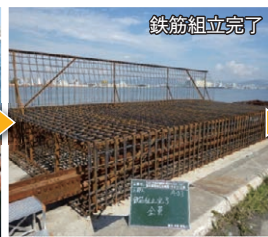
均し作業



⑦鉄筋を組み立て、コンクリートを入れる型枠を設置します。設置した型枠に、コンクリートを流し込み、固まったら、型枠を取り外し完成です。



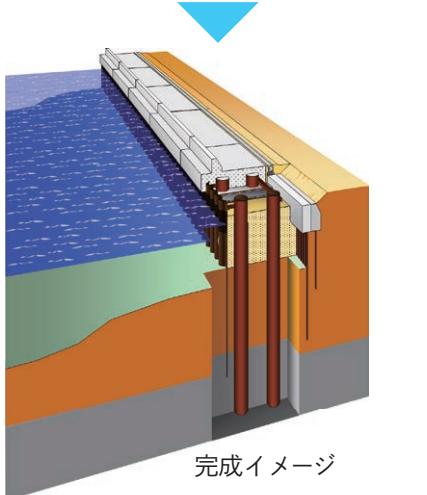
鉄筋組立



鉄筋組立完了



型枠設置完了



完成イメージ



完成(全景)



コンクリート打設



型枠撤去

## 年表 東日本大震災復旧・復興のあゆみ

		平成22年度			
平成23年 (2011年)	3月	11日	東北地方太平洋沖地震発生(14時46分)		
		12日	津波警報から津波警報に切下げ 宮城県東部下水道事務所に仮宮城県石巻港湾事務所設置		
		13日	津波警報から津波注意報に切下げ 被災状況調査着手		
		16日	陸上啓開作業着手(石巻港災害復旧応急工事) 海上啓開作業着手(石巻港支障物撤去工事(釜地区))		
		17日	西海岸線応急復旧工事着手 幹線臨港道路一次啓開作業完了(暫定上下一車線確保)		
		18日	宮城県測量設計業協会へ災害時における被害状況調査に係る応援協力を要請		
		21日	東海岸線二次啓開作業完了		
		22日	宮城県石巻港湾事務所の庁舎被災状況調査に着手		
		23日	緊急支援物資船(第112福一丸)の受入れ開始(中島埠頭) 災害一次調査着手		
		24日	幹線臨港道路以外の一次啓開作業完了		
		25日	雲雀野地区に震災瓦礫(石巻市分)搬入開始 西海岸線応急復旧工事完成(迂回路二箇所確保)		
		27日	石巻市の被災車両仮置き場として南浜埠頭の使用を承諾		
		28日	南浜埠頭に被災自動車(石巻市分)、西浜県有地に震災瓦礫(東松島市分)の搬入開始		
		29日	東浜、西浜防潮堤応急復旧工事着手		
		30日	雲雀野中央埠頭への仮設道路完成 臨港道路二次啓開作業に着手(道路上の被災車両搬出開始)		
				平成23年度	
		4月	1日	1日	第1回石巻港復興会議(県、石巻市、企業)開催 航路啓開作業完了、主要13バースで一般船舶の利用再開(喫水制限有)
15日	宮城県議会被災状況調査				
19日	石巻港災害復旧応急(その2)工事着手				
20日	石巻港日和埠頭荷捌地外応急舗装工事着手				
21日	石巻港外支障物撤去工事着手 雲雀野C、D区へ震災瓦礫搬入開始(石巻市) 大手野積場に宮城県石巻港湾事務所の臨時出張所を開設				
27日	一般貨物船、中島埠頭に震災後初入港				
5月	9日			9日	国内最大級のサルベージ船による打上貨物船の救出作業開始(中島埠頭) 主要荷捌地である日和、大手、雲雀野中央埠頭の応急復旧(仮舗装)工事に着手
				16日	被災者支援のため大型貨客船「テクノスーパーライナーOGASAWARA」入港(17~31日ショートステイ提供)
				20日	東浜、西浜防潮堤応急復旧完了
				24日	放射線量測定開始
6月	31日	31日	石巻港を連携港湾とした釧路港、鹿島港が「国際バルク戦略港湾」に選定		
		1日	地方自治法による派遣職員着任(秋田県5名、富山県2名の計7名)		
7月	7日	7日	船舶の禁止解除(石巻港長公示第7号)		
		13日	主要荷捌地である日和、大手、雲雀野中央埠頭の応急復旧(仮舗装)工事一部完了		
		22日	石巻港災害復旧応急(その3)工事着手		
		23日	第2回石巻港復興会議(国、県、市、商工会議所、企業等)開催		
		5日	石巻港災害復旧応急(その4)工事着手		
7月	7日~8日	7日~8日	災害第1次査定(石巻港)		
		11日	飼料船、震災後初入港(日和埠頭)		
		25日~29日	災害第2次査定(石巻港)		

I 石巻港のあゆみ / 2 大規模災害を乗り越えて

平成23年 (2011年)	8月	1日～3日	災害第3次査定(石巻港、女川港)	
		5日	第3回石巻港復興会議(国、県、市、商工会議所、企業等)開催	
		18日	石巻港中島1号上屋災害復旧工事着手	
		29日～2日	災害第4次査定(石巻港)	
	9月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県1名)	
		5日～7日	災害第5次査定(石巻港)	
		12日～14日	災害第6次査定(石巻港、表浜港、女川港、金華山港)	
		9日	「宮城県沿岸における海岸堤防高さの設定」について公表	
	10月	16日	日本製紙株式会社石巻工場生産再開	
		28日	宮城県石巻港湾事務所復旧工事完成、業務再開	
		1日	南浜大型栈橋防舷材交換及び仮橋設置完了(利用再開)	
		3日	地方自治法による派遣職員着任(富山県1名)	
		4日	陸上啓開作業完了	
		5日	海上啓開作業完了(釜地区) 石巻港外支障物撤去工事完成	
		7日	震災廃棄物2次処理着手(雲雀野地区)	
		21日	石巻港日和埠頭荷捌地外応急舗装工事完成	
		21日～27日	災害第7次査定(石巻港、表浜港、萩浜港、雄勝港、女川港)	
		24日～28日	災害第8次査定(表浜港、萩浜港、雄勝港、金華山港、女川港)	
		30日	石巻港灯浮標災害復旧工事着手	
	11月	1日	中島上屋復旧工事完成、供用開始 地方自治法による派遣職員着任(秋田県5名)	
		2日	臨港道路雲雀野中央線災害復旧(その1)、(その2)工事着手	
		7日～11日	災害第9次査定(石巻港、萩浜港、雄勝港、女川港)	
		14日～18日	災害第10次査定(石巻港、萩浜港、雄勝港、女川港)	
		25日	臨港道路釜北線災害復旧(その3)工事着手	
		27日	大型石炭船、震災後初入港(雲雀野中央埠頭)	
		28日～1日	災害第11次査定(石巻港、女川港)、査定完了(全97件、397億円)	
		30日	石巻港中島1号上屋災害復旧工事完成 大型チップ船、震災後初入港(南浜大型栈橋)	
	12月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県1名)	
		2日	臨港道路釜北線災害復旧(その2)工事着手	
		14日	中央水路外支障物撤去工事着手	
	平成24年 (2012年)	1月	4日	地方自治法による派遣職員着任(富山県1名)
			13日	日和岸壁ニューマチックアンローダー基礎災害復旧工事着手
			30日	第1回宮城県統合港湾長期構想委員会開催 <3港統合長期構想及び港湾計画素案について検討>
2月		23日	臨港道路釜北線(その1)外災害復旧工事着手 潮見1,000t岸壁外災害復旧工事着手 石巻工業港西水路災害復旧(その1)工事着手	
		3月	6日	中島15,000t岸壁外災害復旧工事着手 南浜10,000t岸壁外災害復旧工事着手
7日			西水路災害復旧(その2)工事(津波堆積物浚渫工事)着手	
17日			雲雀野地区廃棄物埋立護岸中仕切堤応急設置工事着手	
19日			石巻港災害復旧応急(その2)工事完成	
23日			石巻港災害復旧応急(その3)工事完成	
27日			第2回宮城県統合港湾長期構想委員会開催 <3港統合長期構想及び港湾計画素案について検討>	
29日			宮城県地方港湾審議会開催 <3港統合について審議>	
平成24年度				
4月		1日	地方自治法による派遣職員着任(秋田県5名、富山県3名の計8名)	
		20日	雲雀野中央埠頭荷捌地災害復旧工事着手 雲雀野北埠頭岸壁災害復旧工事着手	



平成24年 (2012年)	5月	13日	災害廃棄物処理業務(石巻ブロック)火入式を挙		
		17日	臨港道路雲雀野中央線災害復旧(その2)工事完成		
		30日	臨港道路釜北線災害復旧(その3)工事完成		
		31日	臨港道路釜北線外災害復旧(その2)工事完成		
	6月	1日	宮城県港湾復興大会開催		
		4日	石巻港災害復旧工事着工式を挙(大手埠頭)		
		21日	石巻港の復旧方法・復旧予定をホームページで公表		
	7月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県2名)		
		7日	雲雀野防波堤外災害復旧工事着手 西浜離岸堤外災害復旧工事着手 雲雀野地区廃棄物埋立護岸工事着手		
		25日	海上自衛隊護衛艦「たかなみ」入港(25～26日一般公開)		
	8月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県1名)		
		7日	3港の統合一体化について、国土交通大臣への同意協議書を提出 臨港道路釜中線外災害復旧工事着手		
		8日	小学生及び保護者を対象とした復旧工事見学会開催(共催:国土交通省東北地方整備局塩釜・空港整備事務所)		
		10日	日和岸壁荷役機械ニューマチックアンローダー基礎災害復旧工事完成 石巻工業港西水路災害復旧(その1)工事完成		
		29日	石巻港災害復旧応急(その4)工事完成		
		30日	臨港道路雲雀野中央線災害復旧(その1)工事完成、雲雀野西線復旧完了		
	9月	11日	南浜埠頭荷捌地外災害復旧工事着手		
		24日	ウェルカムフェスタ2012「絆」in石巻開催、客船「っぽん丸」震災後初寄港(船内見学会開催)		
		26日	ウェルカムフェスタ2012「絆」in石巻開催、客船「ばしふいっくびいなす」震災後初寄港(船内見学会開催)		
	10月	12日	雲雀野地区廃棄物埋立護岸中仕切堤応急設置工事完成		
		17日	仙台塩釜港、石巻港、松島港の三港を統合し新たな国際拠点港湾「仙台塩釜港」がスタート		
		21日	石巻港日和埠頭荷捌地外応急舗装工事完成		
		26日	西水路災害復旧(その2)工事(津波堆積物浚渫工事)完成		
	11月	14日	中島埠頭荷捌地災害復旧工事着手 潮見埠頭荷捌地外災害復旧工事着手		
	12月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県1名)		
		5日	昭和瀝青工業(株)東北営業所 東北工場、東北油槽所開設(震災後初の新規企業進出(重吉地区))		
		18日	臨港道路外災害復旧工事着手		
	平成25年 (2013年)	1月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県2名)	
		2月	18日	雲雀野中央埠頭荷捌地災害復旧工事完成	
			20日	雲雀野廃棄物埋立護岸に震災廃棄物焼却灰の埋立開始	
		3月	5日	雲雀野中央埠頭荷捌地災害復旧(その2)工事着手 雲雀野北埠頭荷捌地災害復旧工事着手	
			19日	東水路支障物撤去工事着手	
			21日	臨港道路釜北線(その1)外災害復旧工事完成	
			26日	中島埠頭荷捌地災害復旧工事完成 中央水路外支障物撤去工事完成	
		平成25年度			
		4月	1日	地方自治法による派遣職員着任(秋田県5名、富山県3名の計8名)	
2日			中島埠頭荷捌地災害復旧工事着手		
23日	南浜埠頭荷捌地部分供用開始				
5月	9日	ウェルカムフェスタ2013in石巻開催、客船「ふじ丸」震災後初寄港(船内見学会開催)			
	17日	臨港道路雲雀野中央線災害復旧(その2)工事完成			
	24日	第35回宮城県地方港湾審議会開催			
	29日	雲雀野防波堤外災害復旧工事完成			

I 石巻港のあゆみ / 2 大規模災害を乗り越えて

平成25年 (2013年)	6月	5日	南浜埠頭荷捌地外災害復旧(その2)工事着手	
		11日	宮城県港湾復興大会開催	
		18日	石巻港灯浮標災害復旧工事完成	
	7月	25日	雲雀野地区廃棄物埋立護岸工事完成	
		26日	東浜離岸堤災害復旧工事完成	
	8月	23日	東水路支障物撤去工事完成	
		30日	潮見埠頭荷捌地外災害復旧工事完成	
		31日	第11回港湾感謝祭開催(震災後初)、海上自衛隊砕氷艦「しらせ」入港(一般公開)	
	9月	10日	ウェルカムフェスタ2013in石巻開催、客船「ばしふいっくびいなす」寄港(船内見学会)	
		30日	臨港道路釜中線外災害復旧工事完成	
	10月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県3名)	
		4日	大手埠頭荷捌地外災害復旧工事着手	
		7日	地方自治法による派遣職員着任(新潟県1名)	
		9日	ウェルカムフェスタ2013 in 石巻開催、初の外国客船「オーシャンドリーム」寄港(船内見学会)	
		22日	内港浮棧橋災害復旧工事着手	
	11月	29日	日和埠頭荷捌地外災害復旧工事着手	
		15日	パナマックス級バルク貨物船初入港(日和埠頭)	
		25日	雲雀野中央荷捌地災害復旧(その2)工事完成	
12月	14日	西浜防波堤災害復旧(その1)工事着手		
	19日	潮見1,000t岸壁外災害復旧工事完成		
平成26年 (2014年)	1月	18日	石巻ブロック火納め式、東日本大震災により発生した「災害廃棄物」の焼却処理が終了(雲雀野地区) 日和岸壁(-4.5m)(その1)外工事着手	
		30日	南浜埠頭荷捌地外災害復旧工事完成	
	2月	6日	客船「にっぽん丸」寄港(中島埠頭)、内閣府主催「グローバルリーダー育成支援」事業	
		25日	パナマックス級バルク貨物船第2船入港(日和埠頭)	
		27日	大手地区防潮堤工事着手	
	3月	12日	西浜離岸堤外災害復旧工事完成	
		13日	南浜10,000t岸壁外災害復旧工事完成、供用開始	
		21日	東浜防潮堤災害復旧(その1)工事着手 重吉地区防潮堤工事着手 西水路南地区防潮堤(その1)工事着手	
		25日	雲雀野中央埠頭SOLASゲートの運用再開	
		26日	雲雀野中央埠頭荷捌地外災害復旧(その3)工事着手 雲雀野北埠頭荷捌地災害復旧工事完成 中島埠頭荷捌地災害復旧工事完成	
		27日	中島15,000t岸壁外災害復旧工事完成 雲雀野北埠頭岸壁災害復旧工事完成 臨港道路外災害復旧工事完成	
	平成26年度			
	4月	1日	地方自治法による派遣職員着任(秋田県2名、富山県3名の計5名)	
	5月	26日	雲雀野北埠頭SOLASゲートの運用再開	
		29日	南浜埠頭荷捌地外災害復旧(その2)工事完成	
	6月	3日	宮城県港湾復興大会開催	
		5日	石巻市中島町に国の石巻港湾合同庁舎完成、津波避難ビルに認定	
		12日	ウェルカムフェスタ2014in石巻開催、客船「にっぽん丸」寄港(船内見学会開催)	
8月	27日	内港浮棧橋災害復旧工事完成		
9月	5日	大手埠頭荷捌地外災害復旧工事完成		
	19日	西浜防波堤災害復旧(その2)工事着手		
	30日	石巻ブロック災害廃棄物処理施設が完全撤退(雲雀野地区)		

平成26年 (2014年)	10月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県3名)	
		3日	日和埠頭荷捌地外災害復旧(その2)工事着手	
		18日	第13回港湾感謝祭開催、帆船「海王丸」寄港(一般公開)	
		31日	ウェルカムフェスタ2014in石巻開催、客船「ばしふいっくびいなす」寄港(船内見学会)	
	11月	7日	パナマックス級穀物船入港(日和埠頭)	
		25日	雲雀野中央埠頭荷捌地外災害復旧(その3)工事完成	
		28日	東浜防潮堤災害復旧(その2)工事着手 大曲防潮堤外災害復旧工事着手 西水路南地区防潮堤(その2)工事着手	
	12月	4日	日和埠頭荷捌地外災害復旧工事完成	
		12日	中島地区外防潮堤工事着手	
	平成27年 (2015年)	2月	2日	石巻港臨港道路災害復旧工事着手
19日			日和岸壁(-4.5m)(その2)外工事着手 西水路北地区防潮堤(その1)工事着手 東水路南地区外防潮堤工事着手	
25日			西防波堤事業完了(開口部延長86.8m)	
27日			日和岸壁(-4.5m)(その3)外工事着手 重吉地区防潮堤(その2)工事着手	
3月		10日	西水路南地区防潮堤工事(その1)完成	
		24日	大手地区防潮堤工事完成	
		25日	第37回宮城県地方港湾審議会 日和岸壁(-4.5m)(その1)外工事完成	
		31日	重吉地区防潮堤工事完成	
		平成27年度		
4月		1日	地方自治法による派遣職員着任(秋田県2名、富山県3名の計5名)	
		23日	石巻港臨港道路災害復旧工事完成	
5月		10日	第14回港湾感謝祭開催	
		15日	ウェルカムフェスタ2015in石巻開催、客船「にっぽん丸」寄港(船内見学会)	
6月	5日	宮城県港湾復興大会		
7月	4日	東浜防潮堤災害復旧(その3)工事着手		
8月	5日	最新鋭タグボート「宮城丸」石巻港就航		
	15日	「東日本大震災復興チャリティー大会in石巻」開催(主催:全国哥磨会)		
	31日	重吉地区防潮堤(その2)工事完成		
9月	14日	Ro-Ro船が震災後初入港(中島埠頭)		
10月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県1名)		
11月	26日	石炭・バイオマス混焼火力発電施設(石巻雲雀野発電所)起工式開催		
12月	15日	石巻工業高等学校生徒による潮見防潮堤工事見学会開催(主催:宮城県建設業協会石巻支部青年会)		
	22日	中島地区外防潮堤工事完成		
平成28年 (2016年)	1月	26日	日和埠頭荷捌地外災害復旧(その2)工事完成 臨港道路東1号線外災害復旧工事着手	
		27日	大手・中島埠頭荷捌地災害復旧外工事着手	
	2月	18日	西水路南地区防潮堤(その3)工事着手	
		24日	大曲防潮堤外災害復旧工事完成	
	3月	11日	「感謝の灯(あかり)」「希望の光」を開催	
		16日	大曲防潮堤外災害復旧(その2)工事着手 雲雀野地区防潮堤(その1)工事着手 雲雀野地区防潮堤(その2)工事着手	
		29日	西浜町に津波避難タワー完成	

I 石巻港のあゆみ / 2 大規模災害を乗り越えて

		平成28年度	
平成28年 (2016年)	4月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県3名) ウェルカムフェスタ2016in石巻開催、客船「ばしふいっくびいなす」寄港(船内見学会)
	7月	6日	雲雀野地区防潮堤(その3)工事着手
	8月	20日	地球深部探査船「ちきゅう」初入港(雲雀野中央埠頭)
		21日	第15回港湾感謝祭、地球深部探査船「ちきゅう」船内見学会開催
		24日	富山県議会経済建設委員会行政視察
	9月	1日	ウェルカムフェスタ2016in石巻開催、客船「ばしふいっくびいなす」寄港(船内見学会)
		6日	臨港道路東1号線外災害復旧工事完成
		16日	西水路南地区防潮堤(その2)工事完成
		29日	富山県高岡市議会港湾特別委員会行政視察
	10月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県1名)
		15日	日和地区防潮堤工事着手
		31日	西浜防潮堤災害復旧(その1)工事完成
11月	29日	大曲防潮堤外災害復旧(その3)工事着手 西水路北地区防潮堤(その2)工事着手 西水路南地区防潮堤(その4)工事着手	
	12月	13日	石巻警察署水上警備派出所新庁舎完成
	平成29年 (2017年)	2月	21日
3月		2日	大手・中島埠頭荷捌地災害復旧外工事完成
		3日	西水路北地区防潮堤(その1)工事完成
9日		西水路南地区防潮堤(その5)外工事着手	
15日		東水路南地区外防潮堤工事完成	
21日		東浜防潮堤災害復旧(その1)工事完成	
29日		石巻港区防潮堤陸閘(その2)工事着手	
30日		南浜地区防潮堤外工事着手	
		平成29年度	
平成29年 (2017年)	4月	3日	地方自治法による派遣職員着任(富山県4名)
	5月	23日	石巻港開港50周年記念事業 大型客船ウェルカムフェスタ2017開催、客船「ばしふいっくびいなす」寄港(大手埠頭)
	6月	10日	石巻港開港50周年記念事業 大型客船ウェルカムフェスタ2017開催、客船「飛鳥Ⅱ」初寄港(雲雀野中央埠頭)
		11日	石巻港開港50周年記念事業 大型客船ウェルカムフェスタ2017開催、客船「にっぽん丸」寄港(大手埠頭)
	7月	12日	石巻港開港50周年記念式典開催
		14日	大曲防潮堤外災害復旧(その2)工事完成
	8月	4日	石巻港開港50周年記念事業 いしのまき港探検ツアー！開催(主催:石巻港整備・利用促進期成同盟会)
	9月	6日	市民を対象とした第4回合同現場(西浜防潮堤)見学会開催(主催:石巻市市街地復興工事調整会議)
		14日	石巻市議会産業建設委員会視察(東浜防潮堤)
	30日	石巻港開港50周年記念事業 第16回港湾感謝祭開催、東北海洋生態系調査研究船「新青丸」、海洋総合実習船「宮城丸」、巡視船「くりこま」の船内見学会開催(大手埠頭)	
	10月	1日	地方自治法による派遣職員着任(富山県1名)
26日		石巻港開港50周年記念事業 大型客船ウェルカムフェスタ2017開催、客船「飛鳥Ⅱ」寄港(雲雀野中央埠頭)	
11月	16日	市民を対象とした第5回合同現場(東浜防潮堤)見学会開催(主催:石巻市市街地復興工事調整会議)	



# 3 三港統合と新たな取り組み

## 三港統合

### ◆ 仙台塩釜港（仙台港区・塩釜港区）、石巻港、松島港の3港合併に至る経緯

昭和50年代後半から県内において港湾合併の必要性が度々話題とされてきたが、官民ともに具体的な活動が始まったのは平成に入ってからである。「県内の道路網が整備進捗したこと（移動時間の短縮）」や「仙台市への通勤・通学圏である仙台大都市圏が石巻市まで範囲を拡大したこと」などの要因から、港湾の背後圏が一体化してきていることによる「港湾の統合と特定重要港湾への昇格」を平成2（1990）年頃から国に対し求めてきた。

しかし、平成8（1996）年度に所管官庁である運輸省（現在の国土交通省）から「背後経済圏の一体性がないこと」や「各港間の距離がありすぎる」と等の理由から、特定重要港湾への昇格の前提となる港湾の合併そのものが難しいとされた。翌平成9（1997）年度からは塩釜港（塩釜港区、仙台港区）単独で特定重要港湾への昇格を要望し、特定重要港湾の定義及び配置の見直しを平成13（2001）年度に行うとの理由で昇格が留保されていたが、平成13（2001）年4月には塩釜港が港湾法における特定重要港湾に指定され、港名も「塩釜港」から「仙台塩釜港」に変更された。

この間、平成20（2008）年頃までにかけて県内における環境は大きく変化した。主な内容としては以下のものが挙げられる。

- ①高規格幹線道路である「三陸縦貫自動車道」の整備延伸（平成10（1998）年3月）により、仙台塩釜港（仙台港区）から石巻港までの移動時間が整備前の70分に対し40分へ縮小したこと
- ②いわゆる平成の大合併において県内では平成15（2003）年から平成21（2009）年までの間に市町村合併が進み、71市町村が35市町村となったことに伴い、沿岸地域における行政圏が連続するようになったこと
- ③平成2（1990）年に石巻市まで範囲を拡大した仙台大都市圏が平成17（2005）年には栗原市・登米市を含めた範囲まで拡大したこと
- ④平成8（1996）年に形成された超広域型の仙台青葉商圏（県南～県北の一部までを対象）と旧石巻商圏の一部が平成20（2008）年に重複するようになったこと

このように港湾合併の声を上げ始めた頃に比べ、港湾背後圏においてより一層の地理的・経済的要因の一体化（重複化）が実質的に進捗してきた中で、再び港湾統合を検討する契機が訪れた。重要港湾における新規の直轄港湾整備事業の着手対象港湾を限定する方針を平成22（2010）年8月に国土交通省が掲げた際、重要港湾である石巻港が選定されなかったことと、東日本大震災が平成23（2011）年3月に発生したことである。

石巻港が直轄港湾整備事業の着手対象港湾の選定からもれたことについて関係者は少なからずショックを受けたが、改めて港湾統合一体化が宮城県の港湾にとって有効なのではないかとの検討を始めるきっかけになった。しかし、その矢先に東日本大震災が発生し、各港は甚大な被害を受けた。